

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達支援センター オリブ園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	133	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設には、言語聴覚士、保育士、作業療法士が所属している。お子さんの状況や支援について多角的な視点を得ることができる。	・職員間で連携を取り合い、支援にあたっている。	・外部の専門機関や医療機関、学校等との連携をさらに増やし、お子さんについて情報交換や情報共有の機会を増やしていく。
2	・親の会があることで、保護者間の交流やOB会の開催等ができています。参加して下さっている保護者の方からは好評をいただいている。	・役員を決め、主に担当職員と連携をとりながら、行事への参加や物品購入等の活動を行なっている。 ・親の会をOB会を年に1回は開催し、交流を図っている。 ・共働きの家庭が多いこと、通園中の幼稚園等でもPTA活動があること、町内での役員があること等の理由から、引き受けてくださる方が少ないのが現状であるため、会報等のコピーや配布といった施設内での作業は可能な限り、職員が引き受けるようにしている。	・親の会の活動内容に興味を持っていただけるよう、積極的に活動を紹介し、役員の役割や経験者の意見等も広めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・基準に則った人員配置はしているものの、ゆとりを持った体制での支援は現状では難しい。	・女性の職員が多く、結婚や出産で退職や休業に入ることは止むを得ない。	・期間が限られた休業であれば在籍している職員でカバーできることもあるが、退職した職員分のマンパワーはどうしても足りないと感じる。今現在の職員の業務の負担が大きくなりすぎる前に職員の増加を検討していく必要がある。 ・専門職のため、養成校や実習生等、つながりを多く持ち続けていく必要がある。
2	・業務時間内に全ての業務を終えることが難しく、職員の負担が大きい場合がある。	・支援を希望されているお子さんへは必要とされる支援の提供を行ないたいという施設としての思いと、業務量のバランスがうまくとれていない。	・人員の確保を検討しながら、支援員のライフワークバランスにも配慮していく必要がある。
3	・研修や講習等への参加の確保が難しいことがある。	・グループ支援にあたっている職員は調整が可能な場合が多いが、個別支援の場合は振替の時間の確保が難しい。 ・家庭環境から県外への複数日の研修への参加が難しい時がある。	・振替の時間の調整ができるような支援体制を作る。 ・研修等のお知らせは早めに周知し、調整が可能な場合は参加を協議する。 ・オンライン研修の情報もより周知していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

子ども発達支援センター オリブ園

公表日

令和8年3月1日

利用児童数

133名

回収数

35

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと広くてもいい。</li> <li>・現在の人数であれば大きな支障はありませんが、人数が増えた場合、保護者が待機、過ごすスペースがやや限られると感じることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋の大きさが原因で活動に支障が出ないよう、活動場所や方法の工夫もしていきたいと思います。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと増やしてほしい。</li> <li>・現時点で大きな問題を感じた場面は多くありませんが、今後1クラス10名程度になる場合を想定すると、職員3名体制では対応が難しいのではないかと感じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は言語聴覚士や保育士等の資格を有しており、人員基準配置に則って配置しております。それぞれの専門性をより高めながら保護者の方が不安にならないように対応させていただきま</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると	33	2				
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一応、お耳の検査は、みんなに入所する時にさせていただくと安心する気がします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本相談では、発達質問紙検査と聴力検査を原則としておりますが、お子さんの遊びの様子や他の人への関心・</li> </ul>

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1	1	3		・支援プログラムはホームページにて公表しておりますので、ご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	3		1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると	30	2		3	・全体として手厚い支援を受けており、それぞれの支援が連携しながら結果的に形を作っていると感じていますが、項目ごとの整理については判断が難しいためです。	・個別支援計画の説明の際に、よりわかりやすくお伝えできるようにいたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	3	1	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	6	2	3		児童発達支援における保育グループ（こぼと組）ではグリーンローズ保育園、ルーテル愛児幼稚園の園児と交流する機会を設けることができました。 ・ご家族からの要望をお聞きして、必要に応じて文書や電話等による情報交換、保育所等訪問支援を行なっております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	3		・もう少し詳しく教えていただきたかった（細かく）	・ご家族が不安にならないような説明を心がけてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	1				

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等	33			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	3	1		・できていることと、できていないことの説明がもう少し欲しい。	・グループ支援時には、必要に応じて面談時間を設定しておりますので、ご協力をお願いいたします。また、設定された時間以外でも、対応させていただきまので、お気軽にお声がけください。お子さんの様子や成長について、ご家族の気持ちに寄り添いながら、一緒に考えてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	5	2		・3ヶ月に一度くらいはした方がいいと思います。通常のこども園のペースではさんだ方がいいと思う。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	2				
	18	文母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が	26	6		3	・とても良い。 ・きょうだいも参加できるイベントがあるのが嬉しい。	・今年度、親の会ではキャンプや学校見学、OB交流会を行いました。平日の交流会での託児(未就園児)は職員数に限りがあるため細かな検討が必要ですが、少しでも保護者の方々に参加していただき、有意義と感じていただ
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応さ	28	4	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	4	1	5	・スケジュール、アンケートはスマホでも良さそう。 ・発信されている情報に関して、プリントでの確認をメインとしているので、自ら収集はしていない。	・書面でお知らせする事柄もありますが、今後は、現在導入しているHUGのシステムも活用していく予定です。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されている と思いますか。	33	2				
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時 対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等が策定され、保護者に周 知・説明されていますか。また、発生を想 定した訓練が実施されていますか。	27	3		5	・参加したことがないので不明。	・感染症に罹患した場合の対応につい て園内に掲示しておりますが、他の対 応についてもご家族にお知らせできる よう検討してきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期 的に避難、救出その他必要な訓練が行われ ていますか。	21	5		9	・まだ、参加したことがない。 ・参加したことがないので不明。	・月に1回、避難訓練を実施しており ますが、その内容をご家族に知ってい ただけるよう、園内に掲示する等の工 夫をしていきたいと思います。 ・年に1回、警察署の方にご来園いた だき、不審者対応の訓練も実施、講評 をいただいております。今後も職員全 員で取り組んでいきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するた めの計画について周知される等、安全の確保 が十分に行われた上で支援が行われている と思いますか。	29	3	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際 に、事業所から速やかな連絡や事故が発生 した際の状況等について説明がされてい ると思いますか。	26	5		4	・怪我等ですぐに対応してもらったのを 覚えています。冷やすことや親への配慮 もきちんとしてもらいました。	・支援中に怪我をされた場合には、速 やかにご家族に状況説明をさせてい たできます。そのようなことがないよ うに、安全に努めてまいります。
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	32	3				・お子さんとご家族が楽しく安心して 通っていただけるように工夫してい きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	4			・いつも楽しみにしている。 ・先生とのやりとりが楽しいようです。 いつもありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	1	1		・いつもありがとうございます。 ・今後ともよろしく願い致します。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		子ども発達支援センター オリーブ園			公表日	令和8年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等、多くの利用児が集まる場合も十分なスペースが取れるよう、隣接の幼稚園、保育園の建物も活用している。</li> <li>・グループの人数によっては適当でないときは、検討して対応していると思う。</li> <li>・相談室、支援室、トイレなど、必要なスペースを確保できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂は10名近くになると狭く感じる。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状態をしっかりと把握できるよう工夫して配置できているが、もう少し余裕ができると良い。</li> <li>・職員の急な休みの時はギリギリの配置だと思う。</li> <li>・グループ支援において、個別対応が多い場合にヘルプを求めることが難しい状況ではある。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの所に段差もなく、バリアフリー化されている。隣接の保育園の二階で支援を行う時は、エレベーターが設置されていないが、保護者と連携を取りながら人力で行なっている。</li> <li>・エレベーター、スロープの設置が適切である。</li> </ul>	

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一回の支援が終わる都度、感染症対策や清潔を保ち、保護者の方も安心して過ごせるよう、部屋や玩具の掃除、消毒をしている。</li> <li>・食堂の当日利用した椅子は必ず拭いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援に使われている部屋は整頓の時間が取れるが、それ以外の職員が使う場所はなかなか時間が取れていない。</li> <li>・定期的に職員全体で倉庫等の整理整頓、廃棄等する日を設けると良い。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個室が多く、適宜お子さんや保護者のご希望に合わせて柔軟に利用できていると思う。</li> <li>・お子さん一人ひとりに寄り添うことを軸に、日々の関わりを大切にしており、わずかな変化にも気がつけるように努めている。お子さんが自分の気持ちを表現し、必要に応じて個別スペースを利用することで、心のリセットができるような環境づくりに努めている。</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回行い、業務改善につなげている。</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食会議をしたいが、各々のスケジュール等の都合が合わず、できていない。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加した際には、会議でその他の職員へも情報が共有されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修は幅広く明示されているが、実際に参加するには人員確保の面で工夫が必要だと思う。</li> </ul>

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			・勤務時間内の作成が難しいことが多い。 ・時間や期限に迫られていることが多いため、就業時間の中で確実に作成されるよう改善していく必要がある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・児と関わる職員間で、日々の小さな変化も逃さず共有し、共通理解を深めている。他職種が連携し、多方面の視点から一人ひとりの特性に合わせた最適な支援方法を模索している。	・十分に作成できていない場合もあるため、速やかに作成し、細やかなチェックをする必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・全体の会議で共有する時間をとっている。 ・担当者会議や隣接する幼稚園との情報交換等、定期的な時間を設けていると思う。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内	9		・幅広く職員の意見を聞き、適切かつ具体的な内容になるよう気をつけている。 ・週1回行われる会議で一人ひとりについて話し合い、それを元に児の実態に合わせて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・（グループ支援について）各グループの児の実態を把握した上で職員同士で意見を出し合い、親子で楽しめる活動プログラムをチームで立案している。 ・時間のない中で、職員がうまく連携して立案してくださっている。	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・昨年度や前回の反省を振り返ったり、時期に合った活動を考えている。児一人ひとりの活動の中の姿を具体的に予測し、それぞれに合った配慮や支援ができるように工夫している。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・子どもの様子のみでなく、ご家族の希望も確認しながら適切な支援を行うよう心がけている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	9		・（グループ支援について）グループ全体、個人の反省を丁寧に行い、次の支援に活かせるように気づいた点を共有している。	・園内では「反省」としているが、言葉としてのマイナスイメージが強いので「振り返り」でいいのではと思う。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・些細なことでも記録に残すよう気をつけている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・相談事業所が併設されているため、事業所間の情報共有が密に行われている。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・必要に応じて電話や書面で連携を図っている。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・必要に応じて電話や書面で連携を図っている。	

関係機関 や保護者との 連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	・関係者の方々の情報共有の流れには日々助かっている。	・就学後に連携を図ることは多くあるものの、就学前に関係する支援員等が集まって報告を行うような機会は設定されていることが少ない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	2		・個人的に行えていない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7		・希望のある職員の参加を十分に行えていると思う。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	1		・秋田市の児童部会に職員が参加しているが、把握していない職員もあり、職員全員が十分に理解しているとはいえない。今後はその都度の報告や状況説明が必要である。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		・隣接の幼稚園、保育園との交流ができる場面を設定している。 ・隣接する幼稚園や保育園の児と交流する機会が年に数回ある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・毎回、ご家族の話を聞く時間を設定している。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・必要に応じてお伝えしている。	・ペアレントトレーニングのリーダー養成講座を受講している職員がまだ少なく、支援体制としてはまだ不十分である。受講する職員を増やし、体制を整えていきたい。 ・改まった場面ではなくとも、保護者に適切な助言等ができるよう、職員の資質の向上を図っていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・相談担当職員と連携し、ご家族から質問があった際には説明している。 ・可能な限り、説明を行うよう努力している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・毎支援ごとに話を聞くようにしている。 ・特に長期休み明けは、ご家族でどのように過ごしていたかお聞きし、何かあった時にはグループで共通理解を図った上で支援している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を	9		・普段のプログラムと異なり、季節ごとの行事は保護者同士、きょうだい同士の参加があり、交流の場になっていると思う。	・きょうだい同士の交流の場は不十分。
	40	こどもや保護者から相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・給食のレシピを聞かれた際には、簡単なものは口頭、複雑なものは後日書いたものを渡している。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・定期的な通信の発行はないが、行事等は都度ご案内を出している。	・書面では通知しているが、メディアの活用はうまくできていない。 ・HUGを活用した連絡方法はいい取り組みだと思うので、順次進めていけたら良い。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		・通年のバザー参加は十分開かれた事業と思う。	・年1回のバザーの時のみにとどまっている。
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・月1回の避難訓練や外部から講師を招いての不審者対応訓練を実施している。	・各マニュアルについて、保護者の方にも確認していただけるよう体制を整えていく。 ・避難訓練の係分担が都度変わるが、いざ本当に災害が起きた時のことを想定し、概
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・毎月、曜日や時間帯を変えて訓練している。 ・毎月かかさず訓練をこなせていると思う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	・必要に応じて、保護者や関係機関と連携し、情報共有を図っている。	・（支援の場面で）予防接種の確認はしていない。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	・医師の指示書の提出はなくても、アレルギーのあるお子さんに対しては食材についてご家族に都度、確認をしている。 ・新規で給食を食べるお子さんには必ずアレルギーの有無を確認している。 ・支援員と調理師間で情報共有している。	・給食や補食等の際、アレルギーがある場合の医師の指示書の提出について検討していく。また、いかなる場合でも職員がより細かな共通理解が図れるような共通の様式は必要である。

等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		・安全管理はされているが、安全計画については、職員への周知が不十分だと感じる。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		・安全計画を今一度確認し、保護者に説明できるようにしたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・ヒヤリハット事案が生じた際には必ず長に報告し、報告書を作成、職員が自由に閲覧できるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・虐待防止、虐待対応への研修会の参加が多くないため、積極的に参加するように調整し、職員間で共有していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	3	・身体拘束は行っていない。	<small>（組織的に決定したものを）実際のものを</small> を見たことがないため、会議等で周知する機会や研修会があるとありがたい。 ・基本的に身体拘束は行わない。身体拘束廃止委員会の研修は行っているが、支援計画への記載はないため、協議する必要がある。